

中野区における在宅避難対策の現状と課題について

中野区における在宅避難対策の現状と課題について、以下のとおり報告する。

1 中野区の被害想定

(単位：人)

首都直下地震等による東京の被害想定（抜粋） 冬・18時・風速8m/s					
平成24年4月公表			令和4年5月公表		
夜間人口①		314,750	夜間人口①		344,880
避難者②	避難人口		避難者②	発生数	
	避難生活者数			避難所避難者数	
	疎開者数			避難所外避難者数	
在宅避難者数等（①－②）		237,943	在宅避難者数等（①－②）		296,478

※ 小数点以下の四捨五入により、合計値は合わない場合がある。

2 東京都が新たに盛り込んだ在宅避難対策

東京都地域防災計画震災編（令和5年修正）において、東京都が新たに盛り込んだ主な在宅避難対策は、以下のとおりである。

(1) 在宅避難の必要性等とあわせて、「東京とどまるマンション」の普及を促進

災害時でも生活継続しやすいマンションの普及として、

- ① 「東京とどまるマンション」のPR
- ② 登録マンション管理組合に対する防災備蓄資器材の購入支援
- ③ 「マンション管理ガイドブック」による地域コミュニティとの連携促進

(2) 在宅避難者など避難所以外への避難者に対する公衆衛生等に関する支援体制の構築

(3) 在宅避難への備えの推進

- ① Webサイト「東京備蓄ナビ」の運用及び普及広報により都民の日常備蓄の取組を促進
- ② 自宅等での生活が可能な場合における在宅での避難や親戚知人宅への避難など、状況に応じた多様な避難行動の実践について、区市町村と連携を図りながら推進

3 現行の中野区の在宅避難対策及び今後の課題

(1) 現行の在宅避難対策

現行の中野区の在宅避難対策の主なものは、以下のとおりである。

- ① 在宅避難に関する啓発（区ホームページ、中野区民防災ハンドブックや中野区ハザードマップ）
- ② 食料、衣料、医薬品等の生活関連物資の配布及び保健医療サービスの提供、その他避難所以外に滞在する被災者の生活環境の整備
- ③ 食事や支援物資の提供などについて、地域の避難所において地域全体のために行われていることの周知徹底
- ④ 各避難所組織の中に避難支援部、避難支援班を設置し、避難行動要支援者名簿に基づく、避難行動要支援者への安否確認や救出・救助等
- ⑤ 災害時における協力体制にかかる協定に基づく、障害者施設や介護施設利用者の安否確認情報の収集

(2) 今後の課題

在宅避難時に課題となる以下に掲げる項目について、解消を図るための対応を講じる必要がある。

- ① 支給物資や救助活動等の最新情報の入手が困難になることへの対応
- ② 食料、飲み物の調達が困難になることへの対応
- ③ 人との交流が希薄になり、孤立してしまうことへの対応
- ④ 避難行動要支援者以外で避難したくても避難できない人の把握や避難等の対応
- ⑤ 人工呼吸器使用者や透析患者等が在宅避難している場合の対応
- ⑥ 在宅避難や指定避難所以外の場所に避難した被災者の避難状況の把握